

HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1995. 4. 88号



巡回寺院(心光寺)で園児がお見送り

世の中の流れにただ従うのではなく、自分の人生に責任をもち、地球を支える人類の一員としての責任ももって生きる道を育てていきたいと思いませんか?と話された。また、戦後五十年についてや基幹運動について教えと両立しにくい習俗にどう対応するのか、いのちを大切にするとどういふことなのか、家族・故郷を離れた方々にどのようにしてお念仏のこころを伝えるのか具体的な課題から取り組んでいきたい」とのべられ、満堂の本堂で門信徒が静かに聞き入っていた。

続いて法座A(家族対象)法座B(門信徒対象)が開かれ、ともに活発に発言があり、講師の助言と随行長のお言葉をいただき、最後に新宮組総代会副会長の石井義和氏より決意表明があり、大正琴の伴奏で恩徳讃を斉唱し、午後七時十五分に終了し、夕食をとって午後九時に志んぐ荘へ到着し、翌日に帰山された。

今回の新宮組で五三三組中三九九組のご巡教を終え、六月三十日から七月一日には出石組で巡教が予定されている。

「教の根本は私を問う」

ご門主、新宮組をご巡教

三月九日、即ちご門主が新宮組(藤原重信組長)をご巡教された。随行長は総務の黒山秀行師、随行講師は都呂須孝文師(大阪教区島下組光明寺)であった。前日から志んぐ荘へ宿泊

し、翌午前九時に出発され、まず浄教寺(藤原義文住職)、心光寺(内海弘文住職)、潮音寺(藤原重信住職)と三カ寺を巡回され、記念撮影や記念植樹の後、本堂でご門主のお言葉があ

り、一行が寺院を発ったあと、随行講師より法話という日程で進められた。午後からは行事寺院の宝林寺(水原夢江住職)で、帰敬式・式典・法座などが開催された。帰敬式には厳粛に百七十三人が受式した。ご門主はご親教のなかで「仏教の根本はこの私が問題になること。今、私たちがいのち恵まれたことの喜

びを本当に味わっているでしょうか。と問いかけ、今私たちがとって大切な課題の一つは、他のいのちが損なわれていても気にならな

いことが多いということ。先日の阪神・淡路大震災のニュースを聞けば何かに

たいと思う私たちではあります。一方で学校のいじめや社会の差別は人ごとな

なっていないでしょうか。



「飽食暖衣、逸居して教なければ則ち禽獣に近し」(小学) 昨

年末、世間を騒がせた事件に、子供たちのへいじめと自殺Vがあった。ある学者は子供は純真であるが故により禽獣に近いという。より近い赤子はベビーサークルという檻に入れて隔離し少し分別がつけば檻から出してもらえない。前述の事件について識者といわれる方々がいろいろ理由付けをし解説をされた。しかし、教へ教育について深い考察をなされた方は少なかった

◆教育とは知育・体育・徳育の三つをいうのはご承知の通りであるが、ここでの教とはこの中の徳育であってこの徳育を行うところがないのが現況である。だが徳とは何かと問われれば明確に答えることが難しいのも事実である。徳の発源は畏れにあるという。畏れとは畏敬の念であって、如来に対する、おうやまいのこころである◆子供たちに、仏様について、仏様の教えについて、語り伝えていくのが僧侶としての私たちの務めであろう。(福本康二)

教区だより 4・5月

5日(水) 組長会	10時半	
9日(日) 水上西組仏婦10周年記念大会	正福寺	
10日(月) 基推委企画常任委員会	1時半	
11日(火) 寺婦委員総会	10時半	
保育連盟理事会・研修委員会	3時	
12日(水)~13日(木) 輪番・主管・教区基推委会長研修会	本 山	
15日(土)~16日(日) 別院常例法座	1時半	増井浄見師
18日(火) 青年僧侶の会総会	5時	
19日(土) 布教団若手布教使代表者会議	1時半	本 山
仏婦連盟総会		

22日(土) 教区阪神淡路大震災物故者総追悼法要	成徳学園 本山
近畿ブロック保育連盟新任研修会・補任式	
23日(日) 神姫組正善寺慶讃法要	本 山
24日(月)~28日(金) 第一回相談員中央研修	本 山
25日(火) 平和の日の集い	10時半
30日(日) 仏仕理事会・総会	10時半
5月4日(金) 赤穂北組専称寺慶讃法要	
6日(土) 第一土曜仏教講座	清岡隆文師 1時半
7日(日) 永代経開闢法要	大谷本廟
10日(水)~12日(金) 専従員中央研修	本 山
14日(日) 門徒推進員連絡協議会総会研修会	揖電東西信寺



4階コンクリート打設 3月29日撮影

建設工事進捗状況

本願寺神戸別院改築 兵庫教区教化センター設立

現況 三月十三日より工事を再開し四階躯体建込中で二十八日にコンクリート打設を行い、地下一階及び一階二階では清掃・設備配管と仕上工事に着手している。

予定 本館棟は四月五日頃から二階までのサッシ取り付け、五月初旬にかけて軽鉄間仕切や天井下地の工事を終え、五階のコンクリート打設は四月末に予定。

建設懸志進納総額 十五億三千三百三十二万四千三百九十円(67%) (95年3月25日現在)

4月22日 成徳学園講堂にて 追悼法要を勤修

このたびは阪神・淡路大震災物故者総追悼法要を四月二十二日(土)午後二時から成徳学園講堂(神戸市中央区中島通5-3-1)にて勤修いたします。ご遺族・門信徒の方々にご案内下さい。詳細については各組長事務所、または教務所までお問い合わせ下さい。

お仏壇を破損された方へ 阪神・淡路大震災で仏壇を破損されたご門徒宅に対して、山中大仏堂・浜屋仏壇店のご好意により簡易仏壇を用意させていただきます。お申し込みください。また、ご本尊(二十代)も本願寺よりいただき、既に三百二十七個(三月二十九日現在)お配りしております。ご住職様より教務所へ申請下さい。

なお、お届けには日数を要することがございますのでご了承下さい。

敬 弔

小林宣子さん(こばやし のぶこ)赤穂北組長専寺(前坊守)二月二十六日、八十七才で往生。葬儀は三月一日、長専寺で。「曉秀院釋尼妙宣」。

竹中義人師(たけなか・よしと)播磨中組西教寺住職 三月一日、七十一才で往生。葬儀は三月三日、西教寺で。「弘誓院釋義人」。

昭和四十四年から任職在職二十六年。その間昭和五十二年から教区会議員を一期務めた。

石田哲雄師(いしだ・てつゆう)加古川組養福寺住職 三月三日、六十六才で往生。葬儀は三月六日、養福寺で。「明鏡院釋哲雄」。

昭和三十年から任職在職四十年。その間、昭和四十年から四十四年まで副組長。昭和五十六年から六十二年まで組長。また、平成二年から教区会議員を一期務めた。

澤田千代さん(さわだ・ちよ)水上西組浄福寺坊守 三月七日、九十一才で往生。葬儀は三月八日、浄福寺で。「諦順院釋蓮淨」。

寺元まさるさん(てらもと・まさる)揖電東組正徳寺前坊守 三月十四日、八十七才で往生。葬儀は三月十六日、正徳寺で。「香薫院釋尼菴枝」。

三輪幸哉師(みわ・こうさい)神戸東組西教寺前住職 三月二十日、八十五才で往生。葬儀は三月二十四日、西教寺で。「生草院釋幸哉」。

昭和二十五年から平成二年まで任職在職四十年。

徒で派遣時に高校在学中の者で他五項目。参加費は十七万八千円で、締切りは四月二十八日(教務所必着)です。

なお、詳細については教務所、または本山組織化部までお問い合わせ下さい。申込書は教務所にあります。

阪神・淡路 大震災

義援金

①

28日
現在

4億3千5百万円超す

教区内寺院関係 七二、六九四、六五四円
各教区・その他 三六三、九八九、〇八六円

阪神大震災発生以来各方面から震災義援金が寄せられています。教務所へ届けられたもの(3月16日現在)を掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

(敬称略・受付順)

▽備後教区職員一同五万円
▽穴栗組正源寺一万円▽神戸東組誠照寺二万円▽長崎教区仏連連盟五万円▽同教区災害対策委員会五万円▽鹿児島教区仏連連盟五万円▽同教区教務所職員一同五万円▽鹿児島教務所・鹿児島別院二万円▽宮崎教区都城組護国寺二万円▽大阪教区大島南組元立寺五万円▽堺別院仏連十万円▽大阪教区仏連連盟委員長北村多嘉子一万円▽網干組二十四万円▽穴栗組願壽寺十万円▽開明社貞野十万円▽長島愛生園真宗同朋会十万円▽大阪教区石川北組元勝寺仏連十万円▽鷺森別院三万円▽大阪教区榎並組寺婦三十五万円▽本願寺合唱団五千円▽ボーイ・ガールスカウト京都五十団育成会六万円▽本願寺堺別院五万円▽大阪教区天野南組善徳寺仏連松尾美智子三万円▽姫路東組五十万円▽奈良教区教務所三万円▽同教区僧山南組百万円▽大阪教区僧

伽基金三百万円▽本願寺津村別院百万円▽播磨寺族教室はちす会十万円▽姫路東組門徒総代五万円▽大阪教区教務所二百万円▽大阪教区災害対策委員会三百万円▽同教区仏連連盟委員長北村多嘉子一万円▽同教区豊島南組正福寺五万円▽平安観光五万円▽東北教区三百万円▽本願寺津村別院・大阪教区教務所職員一同百万円▽鹿児島光明園浄土真宗法話会二十九万四千円▽城崎組光永寺住職二万円▽同寺門徒十五万円▽近畿同朋運動推進協議会二十万円▽洗心講十カ寺代表姫路中組真宗寺十万円▽新宮組明専寺仏連七万八千四百円▽福岡教区那珂組妙楽寺五万円▽東京教区埼玉組惠光寺大勝信明・良子三万円▽中央仏教学院同窓会三十万円▽大阪教区交野組寺婦有志三万円▽城崎組連成寺十万円▽同寺寺族二万円▽神戸商船大学三万円▽岡山南組西念寺住職二万円▽同寺門徒七十万円▽同寺仏連二十万円▽同寺仏連十万円▽福岡教区百円▽岡山南組百万円▽大阪教区緊急対策本部千八百八十四万四千三百円▽浄土真宗本願寺派本部災害対策委員会五千万円▽

浜屋齋濱田博邦十万円▽日本交通公社神戸支店五万円▽神崎組西正寺二十万円▽福井教区河内和田組赤名寺佐々木和雄二万円▽赤穂北組五万五千円▽佐用組十万円▽神明組百万円▽京都田川一則二万円▽法衣・仏具を贈る会六百三十二万円▽京仏具齋小堀百万円▽姫路西組勝久寺門徒一同二十万円▽城崎組▽国正寺六万三千円▽西光寺五万円▽浄土真宗本願寺派本部災害対策委員会一億二千万円▽法衣・仏具を贈る会十二万円▽加古川組二百三十五万六千五百円▽播磨東組四百四十二万五千五百円▽神明慈照寺三十万円▽同寺慈経会十万円▽同寺照信会二十万円▽城崎組照満寺住職三万円▽阪神南照西光寺門徒一同十万円▽城崎組浄光寺八万円▽水上東組如来寺門徒一同十一万円▽城崎組西光寺二万五千円▽揖電西組百四十四万三千七百八十五円▽赤穂北組浄光寺若菜会三万円▽神明組真宗寺分院十五万円▽姫路西組真教寺三十万円▽内田洋行齋三万円▽岡山北組報恩寺連研懇話会十一万円▽城崎組西光寺山本正男一万五千円▽大阪教区緊急対策本部一千九百六十六万七千

六百八十四円▽滋賀教区野洲組常行寺石橋正宇五万円▽江並教堂門信徒・職員五万円▽中道組十万円▽城崎組徳證寺三万円▽同寺門徒一同七万円▽姫路東組正楽寺十一万円▽城崎組明元寺二万円▽法衣・仏具を贈る会二万円▽法衣・仏具を贈る会十万円▽赤穂北組法林会十八万九千円▽同会図書部一万円▽水上東組▽本明寺門徒一同十万円▽西現寺五万円▽同寺寺三万二千元▽城崎組▽照満寺三十七万円▽西照寺三万九千円▽水上東組本光寺四万円▽城崎組清蓮寺七万円▽姫路東組善行寺五万円▽姫路西組善止寺十万円▽水上東組安楽寺三万円▽姫路東組▽教正寺十一万円▽教福寺十万円▽朝来組百四十二万九千六百六十円▽浄土真宗本願寺派本部災害対策委員会一億五千万円▽浄土真宗本願寺派仏連連盟一千万円▽水上東組開善寺一万九千円▽城崎組乗福寺十万円▽水上東組西福寺五万三千円▽佐用組百七十一万七千七百円▽大阪教区豊島北組仏連連盟三十万円▽淡路組▽浄光寺五万六千円▽宣徳寺四万円▽真光寺三万円▽神姫組▽光輪寺十三万二千五百

▽明宝寺仏社六万四千円▽姫路南組二百五万八千円▽岡山南組法親寺仏社三万四千円▽松本亮平二万円▽岡山南組光清寺二十八万四千円▽水上東組福照寺門徒一同八万六千円▽姫路西組浄福寺十万円▽同寺門徒一同十万円▽岡山北組河内畑敏子二万七千七百円▽城崎組▽善教寺十五万五千円▽真光寺三万五千円▽播磨中組▽西念寺四万円▽最照寺七万九千円▽西教寺二十万円▽福惠寺十三万四千円▽光宗寺二十万円▽福照寺五万六千五百円▽浄福寺四万六千円▽教覚寺九万九千円▽願正寺九万二千円▽福善寺十四万円▽真築寺十八万七千七百円▽光福寺十二万円▽光正寺十万円▽安養寺九万六千円▽名称寺五万円▽正願寺二十万円▽光專寺十五万円▽専徳寺八万二千円▽善称寺十五万円▽安楽寺七万四千円▽姫路西組徳円寺十万円▽姫路西組五十万円▽多紀組百二十九万八千六百円▽城崎組願教寺三万円▽阪神南組西光寺門徒一同五万円▽赤穂北組長專寺三十五万円▽姫路東組超正寺二十万円▽福岡教区谷井井子十万円▽社会福祉推進協議会兵庫支部十二万円▽出石組法輪会一万九千二百八十円。

三月十六日以降に寄せられたものについては五月号に掲載予定です。

仮設住宅へ物資配布

HO日誌

2月27日 寺院救済活動を神戸湊組西光寺へ。青僧会五人と他四人で寺院・保育園の備品を保管場所へ搬出◆神戸東組安楽寺へ。青僧会一人と他三人で一般住宅の生活必需品搬出◆神戸別院建設現場へ。中仏生四人で救済物資種類確認作業と仮設住宅居住者宅を訪問し希望物資を調査◆27日、3月9日 東灘区深江の本庄墓地へ。大分教区から延べ六十九人で五百八十九基の墓石修復作業◆28日 神戸西組善正寺へ。備後教区九人で仏具・遺骨等搬出◆灘区灘南通のテント小屋へ。中仏生四人で下着等の物資を配布。

家具搬出◆2日、10日 JR灘駅付近の青陽東養護学校と東灘区御影石町の御影高校の二カ所で長崎教区島原地区の本派関係保育園の有志延べ二十四人で青空保育園◆3日 教区災害対策三役会を別院で◆播磨中組西教寺住職竹中義人師の葬儀◆社推協常任委員会を別院で◆4日 第一土曜仏教講座を別院で。震災以来四十日ぶりの法座。講師は藤大慶師(るんびに太鼓主宰)◆大阪教区茨木東組西福寺◆全焼となった神戸西組信行寺でテントを設営して大震災犠牲者追悼並びに満中陰法要。楽入りで讃仏偈のおつとめの後、行信教授の天岸浄圓師の法話。浄土真宗ボランティア大阪主催◆神戸東組安楽寺へ。北豊・安芸・兵庫の六人でフェンス造り◆神戸東組妙善寺へ。兵庫二人で廃材処理◆5日 永代経開闢法要を大谷本願で◆5日、7日 仮設住宅へ中仏生七人で物資を配布◆6日 基推委企画常任委員会を別院で。①阪神大震災犠牲者追悼法

要について②宗派運動計画討議について③本年度反省と新年度教区基幹運動推進計画(第三次・第一期)について④教区相談員専従体制について⑤その他◆7日、8日 豊岡教堂永代経法要◆8日、10日 新宮組組巡教(一面に別記)◆10日 教務所長会が本山で◆11日 淡路組が阪神・淡路大震災物故者総追悼法要を宣徳寺で。法要に引き続いて仏婦と寺婦の合同研修会が開催され、同寺住職の藤榮行信師が「開かれた未来・往生浄土」と題して講義。また体験発表として四人からボランティア活動の内容や感想などを発表◆神戸西組金楽寺境内に北豊教区の救済活動拠点としてプレハブを設置◆13日 阪神西組光明寺で岐阜教区十二人が炊きだし◆少年連盟で仏旗と掲揚ポールを十三カ寺に設置◆14日 神戸東組妙善寺と神戸西組現行寺へ岐阜教区十二人で瓦礫の処理◆龍谷大学講師の鍋島直樹師を中心にゼミの学生や北海道教区二人を含めて十三人で中央区六十五カ所、灘区

東組内住職、大分教区墓地修復ボランティア隊によって営まれる◆雨天のため備後教区六人で別院仮事務所の横の救済物資整理と屋根のおし作業◆17日 災害対策常任委員会を別院で◆災害対策委員会を別院で◆一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

であり、教区としては三月十三日に被災寺院に該当する組を除いて四五九カ寺に依頼状を送付しているが、被災寺院でも協力したいとの申し出もあり、組長預かりとして、組の実情にあわせて対処することなどが決まってきた◆18日、19日 門徒推進員代表者協議会が本山で◆20日、22日 別院春季彼岸会。講師は大野孝頭師(大阪教区大阪北組止皇寺)◆22日 教区仏連連盟が淡路島の北淡町野島小学校で炊きだし◆24日 阪神大震災物故者総追悼法要が本山阿弥陀堂で。即如ご門主ご親修で修行。神戸と西宮の六カ所へ八台のバスを配車して、遺族・門信徒が参拝◆兵庫区内全域各避難所へ。龍大生六人で掲示ボランティア◆27日 常備会を別院で◆門徒推進員連絡協議会幹事を別院で◆28日 教区仏連連盟委員会を別院で◆教区阪神・淡路大震災物故者総追悼法要実行委員会を別院で◆29日 門徒総代会評議員会を別院で◆31日 定期教区会を別院で。

被災寺303、門徒死亡851

3月1日 都賀川などテント小屋へ。中仏生四人で物資配布◆神戸西組善正寺へ。備後教区十人で雅楽器・書籍・寺院過去帳・掛け軸等搬出◆2日 布教団役員会を別院で◆新宮組巡教打合せ会を宝林寺で◆神戸西組順照寺へ。青僧会二人で

要について②宗派運動計画討議について③本年度反省と新年度教区基幹運動推進計画(第三次・第一期)について④教区相談員専従体制について⑤その他◆7日、8日 豊岡教堂永代経法要◆8日、10日 新宮組組巡教(一面に別記)◆10日 教務所長会が本山で◆11日 淡路組が阪神・淡路大震災物故者総追悼法要を宣徳寺で。法要に引き続いて仏婦と寺婦の合同研修会が開催され、同寺住職の藤榮行信師が「開かれた未来・往生浄土」と題して講義。また体験発表として四人からボランティア活動の内容や感想などを発表◆神戸西組金楽寺境内に北豊教区の救済活動拠点としてプレハブを設置◆13日 阪神西組光明寺で岐阜教区十二人が炊きだし◆少年連盟で仏旗と掲揚ポールを十三カ寺に設置◆14日 神戸東組妙善寺と神戸西組現行寺へ岐阜教区十二人で瓦礫の処理◆龍谷大学講師の鍋島直樹師を中心にゼミの学生や北海道教区二人を含めて十三人で中央区六十五カ所、灘区

東組内住職、大分教区墓地修復ボランティア隊によって営まれる◆雨天のため備後教区六人で別院仮事務所の横の救済物資整理と屋根のおし作業◆17日 災害対策常任委員会を別院で◆災害対策委員会を別院で◆一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

であり、教区としては三月十三日に被災寺院に該当する組を除いて四五九カ寺に依頼状を送付しているが、被災寺院でも協力したいとの申し出もあり、組長預かりとして、組の実情にあわせて対処することなどが決まってきた◆18日、19日 門徒推進員代表者協議会が本山で◆20日、22日 別院春季彼岸会。講師は大野孝頭師(大阪教区大阪北組止皇寺)◆22日 教区仏連連盟が淡路島の北淡町野島小学校で炊きだし◆24日 阪神大震災物故者総追悼法要が本山阿弥陀堂で。即如ご門主ご親修で修行。神戸と西宮の六カ所へ八台のバスを配車して、遺族・門信徒が参拝◆兵庫区内全域各避難所へ。龍大生六人で掲示ボランティア◆27日 常備会を別院で◆門徒推進員連絡協議会幹事を別院で◆28日 教区仏連連盟委員会を別院で◆教区阪神・淡路大震災物故者総追悼法要実行委員会を別院で◆29日 門徒総代会評議員会を別院で◆31日 定期教区会を別院で。